

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第115号



題字は岸 信介先生書

2012年(平成24年) 10月20日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査特別委員会 印刷/キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



麻郷小学校運動会

9月16日

グラウンド改修工事の為、田布施町スポーツセンター
町民グラウンドで行われました。

9月定例会	23年度決算を認定しました	2P
委員会レポート	決算審査、総務文教、経済厚生	4P
一般質問	防災対策など町政の課題を質しました	6P
議会だより	114号を読んでの感想です	13P

23 年度決算

9月定例会

一般会計 60億 6,651万円 特別会計 38億 9,233万円

を認定

町長 「堅実かつ積極的な行政運営に努めた」



本 会 議 (9 月 11 日)

平成24年9月定例会は9月11日から14日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告4件及び決算1件、補正予算4件、条例2件、人事2件、その他1件の計10件の町長提出議案を審議しました。なお、初日の本会議では、7人の議員が一般質問に立ちました。

財政健全化比率等の状況

(単位：％、ポイント)

項 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
財 政 力 指 数	0.514	0.530	0.517	0.488	0.458
経 常 収 支 比 率	94.5	96.2	95.9	88.5	90.5
実 質 公 債 費 比 率 (3ヶ年平均)	20.0	19.1	18.7	17.4	16.0
将 来 負 担 比 率	213.6	197.6	187.0	147.3	139.0

*財政用語の説明は3ページをご覧ください。

町長報告

- 継続費精算書
- 平成23年度基金運用状況
- 平成23年度決算に係る健全化判断比率
- 平成23年度決算に係る公営企業の資金不足比率

町長提出議案

23 年度決算認定

一般会計及び特別会計

一般会計の歳入総額は63億2736万円、歳出総額は60億6651万円、歳出総額が6億6651万円を差引額(形式収支)は2億6085万円となりました。

歳入では、町税が前年度に比べ1458万円(0.9%)減の16億7837万円となりました。県支出金は食料自給率向上・産地再生緊急対策事業の実施等により、3976万円増の4億8446万円、地方交付税は、前年度に比べ4069万

円の増の19億8110万円となりましたが、その補填財源である臨時財政対策債は9567万円の減額となりました。

歳出では、保育所・公民館耐震補強等施設整備事業、食料自給率向上・産地再生緊急対策事業、麻郷小学校校舎改築事業等により、前年度に比べ3億1558万円の増となっております。

また、特別会計4会計の歳入合計額は39億3101万円、歳出合計額は38億9233万円で差引額(形式収支)は3868万円となりました。

【賛成多数】

24 年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1億8245万6千円増額し、予算総額55億3647万2千円とするものです。

主な歳入

繰越金

1億8511万円

主な歳出

- 財政基金積立金 1億1182万円
- 漁港施設整備工事 563万円
(馬島漁港の水深が浅いため浚せつ工事をするものです。)
- 公民館整備事業 550万円
- 防災行政無線デジタル化に伴う設計委託料 409万円
- 【全員賛成】
- 国民健康保険特別会計
前年度療養給付費の返還金等の増額補正です。
- 【全員賛成】
- 下水道事業特別会計
人件費関係の減額に伴う繰入金の減額補正です。
- 【全員賛成】
- 介護保険特別会計
前年度精算に伴う返還金及び介護給付費準備基金積立金の増額補正です。
- 【全員賛成】

条 例

- 田布施町防災会議条例等の一部改正
災害対策基本法の一部改正により防災会議の事務、委員の範囲を拡大するものです。
- 【全員賛成】
- 田布施・平生水道企業団規約の変更
平生町簡易水道事業の統合及び同町漁業集落排水施設使用料の徴収事務実施に伴い、規約変更するものです。
- 【賛成多数】

その他

- 町有林野の貸付
携帯電話無線基地局の用地として町有林の一部を有償で貸し付けるものです。
- 【全員賛成】

人 事

- 固定資産評価審査委員会委員の選任
加藤一生氏が本年9月30日に任期満了になるため、引き続き同氏を選任するものです。
- 【全員賛成】



加藤 一生 氏

- 教育委員会委員の任命
尾崎龍彦氏、高橋邦子氏が本年9月30日に任期満了になるため、引き続き同氏を任命するものです。
- 【全員賛成】



尾崎 龍彦 氏



高橋 邦子 氏

財政用語の説明

- ◇財政力指数◇
地方公共団体の財政力の強さを示す指標です。数値が「1」に近いほど財源に余裕があるとされます。
- ◇経常収支比率◇
地方公共団体の財政構造の弾力性を示す指標です。比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいると判断されます。
- ◇実質公債費比率◇
公債費の元利償還金等の債務返債額が一般財源に占める割合をいい、この数値が大きいほど、財政運営が厳しいとされます。

平成23年度決算の概要

■歳入歳出の状況

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	63億2,736万円	60億6,651万円	2億6,085万円	
特別会計	国民健康保険	18億5,046万円	18億3,103万円	1,943万円
	下水道事業	7億 276万円	7億 100万円	176万円
	介護保険	11億8,348万円	11億6,600万円	1,748万円
	後期高齢	1億9,432万円	1億9,431万円	1万円
計	102億5,838万円	99億5,885万円	2億9,953万円	

■町債（借入金）の状況

会計名	年度末現在高		増 減
	23年度	16年度	
一般会計	73億2,382万円	82億 753万円	▲8億8,371万円
特別会計	53億7,107万円	53億7,657万円	▲550万円
計	126億9,489万円	135億8,410万円	▲8億8,921万円

- ◇将来負担比率◇
一般会計等の借入金（地方債）や公営企業等に対して将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化したものです。350%を超えると、財政健全化計画を作成することとなります。



決算審査特別委員会 (9 月 13 日)

委員会レポート

決算審査特別委員会

「平成23年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置、9月13日委員会を開き、慎重に審査しました。審議のなかで、毎年同じ課題があることを指摘し、今後の行政運営において、各課で改善の方向性を出すよう求めました。

おもな質疑

Q & A

歳入

Q 固定資産税の不納欠損はどういう場合か。

A 会社の倒産や抵当権がついている場合、義務者の死亡で相続拒否された場合など。

Q たばこ税が前年比10.8%増の要因は。

A 平成22年10月1日に税率が上がったため。

Q 保育料の滞納人数など実情は。

A 現在37人いる。こども手当から徴収できるようになったので、23年度は過年度分の徴収率が上がっている。

Q 麻郷公民館使用料が減少した理由は。

A 耐震工事の間利用できなかつたため。

歳出

Q 食生活改善推進協議会のメンバーは育成されているか。

A 新たに10数人の方が研修を終え、活動されている。

Q 柳井駅から城南原間のバス路線の平均乗車数が少ないが。

A 特に田布施駅から城南原間は極端に利用が少ない状況。

Q 地上デジタル放送は町内全域で映るようになったか。

A 馬島など一部地域はこれから対応する。

Q 将来運行が予定される、岩国空港から田布施間のバス路線に町負担はあるか。

A 町の負担はない。
Q 高速バス停留所の整備をすべきでは。

A 利用者が増加すれば、研究して整備したい。

Q 法人保育園委託料が増加した理由は。

A 委託料は保育単価に人数を乗じた金額。国の基準単価が上昇したため増加した。

Q 保育園委託料の単価が園で異なる理由は。

A 保育単価を算定する要素に保育園の定員数があるため、施設で異なる。

Q 配食サービス利用数の減少理由は。また、利用者アンケート調査しているか。

A 自己負担額が1食500円で他の弁当に比べ高額なことが原因の一つと考えている。アンケート調査はしていない。

Q タクシー券等の利用者の現況(入院や同居家族)を把握しているか。一度見直しをしては。

A 更新時に確認している。状況を再確認したい。

Q オストメイト・トイレがスポーツセンターに整備されたが、他にあるか。もつと周知すべき。

A 他に本庁、図書館、西田布施公民館にある。周知していく。

Q 公園の点検はしているか。トイレの掃除や草刈は地元がやるのか。

A 最低年1回は町で点検し、塗装など補修もする。トイレは町が管理している。草刈などの管理は児童遊園・農村公園は地元自治会に委託し、その他の公園は町で行う。

Q 借地にある、利用されていないような公園はそのままよいのか。

A 以前のご指摘後、地元自治会に意見を聞くと、利用はしており、災害時などにも必要ということだった。

Q 政策の効果を評価する作業が不十分では。

A 評価はしているが、十分でなかったかもしれない。今後は政策調整をしつかりやっていきたい。

総務文教



総務文教委員会 (9月20日)

総務文教委員会を9月20日に開き、平成24年度一般会計補正予算、条例等一部改正1件を審査しました。

予算

24年度一般会計補正予算
Q 防災訓練が予算化されていない。今年度中に実施するのか。
A 必要と考えているが、役場主導では効果が小さい。地元と連携し、自主防災会主導で行いたい。現在、麻郷・麻里府の会に検討してもらっている。

費用はかからないので、計画次第、実施する。

Q 他市町と共同設置の障害者虐待防止センターの委託料について。負担割合を人口割でなく件数割にしては。通報件数も少ないのでは。
A 虐待件数は障害者に限らず、増えている。介護する側の高齢化も要因の

ひとつ。今年度から設置するので、件数不明のため人口割にしている。

Q 助政住宅の跡地利用の具体的な計画はあるか。
A 具体的な計画はない。

条例関係

田布施町防災会議条例等の一部改正
【全員賛成】

委員会レポート

経済厚生



経済厚生委員会 (9月18日)

経済厚生委員会を9月18日に開き、平成24年度一般会計補正予算を調査。24年度特別会計補正予算関係3件、条例関係1件、その他1件を審査しました。

予算

24年度一般会計補正予算
Q 高齢者いきいき館の修繕内容は。
A 大雨時に水が染み込み床が腐食している。羽アリ・シロアリの発生の危険があるので補修する。

の草刈をして頂いている。

24年度特別会計補正予算 国民健康保険
【全員賛成】

下水道事業
【全員賛成】

介護保険事業
【全員賛成】

Q 包括支援センター用のパソコン購入費を町が支出する理由は。
A 包括支援センターが利

用するパソコンは町の介護関係の情報と連携している。システム管理上、町が購入し、貸与している。

条例関係

田布施・平生水道企業団規約の変更
【賛成多数】

町有林野の貸付け
【賛成多数】

Q 賃借料は、他の事例と比較したか。
A 固定資産税評価額と比べ、高額なため契約した。

【全員賛成】

Q 桜土手の草刈ボランティアの状況は。
A 年1回商工会館側を、年6回図書館付近の土手



公民館講座（西田布施公民館）



清神 清 議員

公民館

9月定例会
一般質問

使用料見直しを

清神 清

見直し検討する

尾崎 教育長

Q 田布施町には6箇所公民館があるが、他の市町より利用料金が安く設定されている。外部からの先行予約で、町内の利用者が使えないことがある。
①他の市町からの利用者は5割り増し料金を徴収すべき②準備や片付時間は未徴収、明記していない。徴収すべきでは。

A 少しでも多くの町民に利用して頂く為に安価な使用料を設定している。町外利用者が増加し、町内の利用者に支障出てくるとなれば町外利用料金の差を設ける必要がある。
①割り増し制度導入は慎重に検討する②準備時間も使用料の算定とするよう見直したい。

防犯カメラ

設置計画はあるか 清神

現在は考えていない 長信 町長

防災対策など町政の課題を質しました

ただ



町内コンビニの防犯カメラ

Q 最近悪質な犯罪が増加しつつある。事件発生後防犯カメラの解析から犯人逮捕の手がかりとなる

町独自の防犯カメラはあるか、又今後町の中心に設置の計画はあるか。
A 防犯パトロール隊等の協力を得ながら地域での

るケースが多い。柳井市でも街の銅像が何者かの手によって壊された事件が発生し、設置計画がある。

防犯対策に取り組んでいる。現在本町が設置した防犯カメラはない。
最も重要なことは地域住民一人ひとりが防犯意識を高めていくことだと考える。現在のところ、防犯カメラの設置は考えていない。

整備計画は

清神

優先度から設置検討

町長

Q 今年度から3年計画で自治会が設置する防犯灯に対し、LED防犯灯への交換が始まった。
①LEDへの交換計画の状況はどうか、②駅から役場まで水銀灯が集中しているが、中央南の「希望」の銅像付近は真つ暗。

詩情公園一帯に防犯灯を設置して欲しい。

A 町内に防犯灯は1373本ある。本年度から計画的にLEDへの交換を予定している。①本年度予定した321本は既に交換を完了した②9月か

らさくら橋の水銀灯をつけて暗さを解消している。防犯灯の設置は優先度の高い箇所から設置を検討したいと考えている。



LED 防犯灯

雇用対策

退職者への対応は 藤山 巖

支援に取り組む 長信町長



藤山 巖 議員

Q 国内景気の低迷で今年に入って半導体大手のシリントロニック・ジャパン工場が閉鎖、更にはルネサス柳井セミコンダクタが3年以内を目途に閉鎖を発表している。これら工場には多くの本町在住の従業員が働いているが、退職者の対応をどのように考えているか。

A 半導体業界の不況で光市や柳井市の工場閉鎖等

により本町在住の従業員は3社合わせて65名と推定。本町では山口県、山口労働局や関係市町等で雇用対策連携会議を開き、相談窓口の設置や求人開拓活動など離職を余儀なくされる方の再就職支援に取り組む。



退職者緊急総合相談窓口（柳井県民局）

6次産業の育成

秘伝を商品化 藤山

支援を検討したい 町長

Q 経済の減速等で企業誘致がままならないならば、町自ら6次産業の育成に積極的に取り組む、町内で埋もれている農水産加工の秘伝の業を商品化する、所謂、特産品開発により、若者の就業の場を確保し、延びては町の活性化につなげる考えはないか。

A 本町では地域交流館やここのパーク小行司、県漁協田布施支店等で生産、加工、販売の6次産

業化を独自に行い雇用の場になっている。今後は、国営農地再編事業で大豆、麦の生産も拡大することから国、県の施策を活用して6次産業化に向けた支援を検討したい。



地域交流館加工部

6次産業とは

農業経済学者の今村奈良臣氏が提唱した造語。農林水産物等の生産（1次）だけでなく、食品加工（2次）、流通・販売（3次）も一次産業従事者が一体的に行うこと。新たな付加価値の創造や農山漁村の所得の向上、収益性の改善、雇用の確保につながると期待される。

南海トラフ地震

津波対策を問う 藤山

自主防災会と協議・検討 町長

Q 政府の有識者会議は、南海トラフを震源域とする巨大地震の推計を先月公表した。それによると、田布施町の震度は6弱で津波高は4mに達すると予測している。万一、津波が押し寄せると海岸部の被害は甚大だ。

A 町は津波対策をどのように検討しているのか。

A 今回の推計は南海トラフでの巨大地震の2次報告として浸水域等の詳細を公表したものだ。本町の浸水域は麻里府の海岸沿いと馬島、麻郷の鳥越、蓮輪、浜城地区となっている。県が行う推計を参考に町の自主防災



南海トラフ図（海上保安庁作製）

会とも意見交換して、避難場所等を検討する。

新知事誕生

期待されることは

河内 賀寿

早期に要望・協議する

長信町長



河内 賀寿 議員

Q 7月29日県知事選で、山本繁太郎氏が当選した。新知事は地元も柳井であり、町長も積極的に応援されたと思う。昔は、岸・佐藤総理が出たから道路もよく、特急も止まると学校で習った。時代は違うが、太いパイプをどう生かされるか。具体策など期待されることを問う。

A 本町や周辺地域の課題や実情をよくご存知の山本新知事の誕生は、大変心強く思う。町民の皆さんも期待されていると思う。できるだけ早い時期

に、新知事とお会いし、具体的な要望・協議をさせていただき、その予算化・事業実施に向けたお願いをして参りたい。

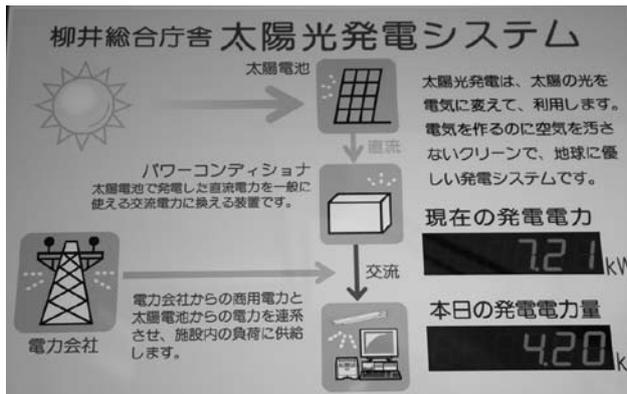


山本県知事 (山口県提供)

再生可能エネルギー

本町の取り組みは 河内

調査・研究する 町長



公共施設の太陽光発電 (山口県柳井総合庁舎)

【再生可能エネルギーの種類】

- ①太陽光発電
②風力発電
③バイオマス
④水力発電
⑤地熱発電
⑥太陽熱利用ほか

【導入の意義】

- ①エネルギー自給率の向上
②地球温暖化対策
③日本の産業の育成と雇用の創出

【導入の課題】

- ①設備の価格が高い
②日照時間等の自然状況に左右される
③既存のエネルギーと比較すると発電コストが高い
④天候などの影響で出力が大きく変動し電気の安定供給に問題が生じる
⑤そのため、発電出力の抑制や蓄電池の設置等の対策が必要になる

(資源エネルギー庁HP資料をもとに作成)

Q 7月1日から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始された。メガソーラーなど地元企業も実施を検討しているようだ。本町は、土地の斡旋や補助金など、企業援助の考えはあるか。また、公共の建物の上や、敷地内でのソーラー発電の考えはまだまだないか。

A このような政策課題を調査研究するため、7月に副町長をトップに課長級職員13名、係長級29名で全庁的な政策調整組織を立ち上げた。その会議の中で可能性を検討したい。公共の建物の上や敷地内でのソーラー発電は現時点で計画はない。調査、研究はしたい。

内部統制強化

信頼を回復せよ

高川 喜彦

検討したい

長信町長



高川 喜彦 議員

Q 地方自治法が制定されて65年である。変革、激動する今日、地方公共団体でも内部統制の強化が必要ではないか。今日、社会保険庁の年金記録の改ざんや国・地方を通じ公務員の不祥事件が多い。内部統制を強化し、信頼の回復をすべきと思うが如何か。

A 国・地方を通じ、国民や住民の信頼がないと将来の社会保障や国民負担はもとより、地方分権も地域主権などの重要課題は何も進まない。

町役場においても「組織マネジメントは機能しているか」「法令遵守は徹底されているか」など内部統制を検討したい。

■内部統制の整備を行なうことによる効果

- ①不適正な事務処理の改善・法令順守の徹底
- ②業務の有効性及び効率性の実現
- ③行政組織に関わる者の意識改革等

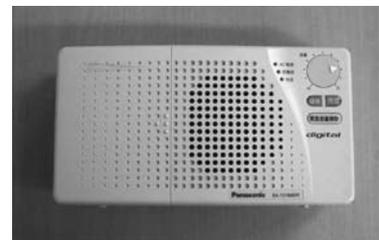
住民から信頼される地方公共団体の実現

(総務省「地方公共団体における内部統制のあり方報告書」をもとに作成)

防災情報

戸別受信機設置を 高川

検討する 町長



戸別受信機（周防大島町提供）

Q 私は今年3月に、防災行政無線の戸別受信機の設置を提言した。今年8月29日には南海トラフ巨大地震の被害想定が発表された。その被害は30都府県に及び死者32万人、本町には4mの津波が襲来とのこと。その被害が想定される地域だけでも設置しては。

A 南海トラフでの最大級の巨大地震で最初に1m程度の波が到達するまで1時間53分と想定。その間に防災行政無線の放送、モーターサイレンの吹鳴、防災防犯メール、NTTドコモ緊急災害エリアメール、広報車、自主防災会の情報伝達で災害情報を早く提供する。

新学習指導要領

移行は順調か

高川

順調に移行している

尾崎教育長

Q 町の小中学校では新指導要領の実施は、順調に移行しているか。

A 私、学校教育の使命、知徳体の習得と人間の基礎づくりが重要と考える。わけても学力の向上が第一と考えるが、教育長のお考えを尋ねる。なお「平成24年度全国学力テスト」の成績は。

A 知徳体のバランスのとれた学校運営や教育課

程の編成等に取組み順調に移行している。本町では①達成すべき教育活動の水準化を図る②学力向上担当者③同担当者会議を設け学力向上に努めている。学力テストは小中学校とも国県平均を超えた。



フリーデー参観日（麻郷小学校）

たぶせ苑

議員と理事長兼務よいか

岡崎南海子

回答しかねる

長信町長



岡崎南海子 議員

Q 「町とたぶせ苑はパートナーである。」と町長は言う①元町職員がどの位勤めているか②元三役からの勤務実績は。たぶせ苑からは回答もらえなかった。「理事長が議員であることは議会議決がしにくい」という町民意見がある。町民から選ばれた町長としてどう考えるか。

A ①現在は元町職員は2名の在籍がある②元三役は2名の勤務実績がある。「理事長が議員であることは議会議決しにくい」という点については回答しかねる。これからも引き続きパートナーとして支援する。



地球温暖化対策協議会のような

協議会

傍聴できるか

岡 崎

検討する

町 長

Q 町民からなる地球温暖化対策協議会を新聞で知り頼み込んで傍聴した①自由傍聴したい②構成員がいつも同じ③委員になる方法を問う。規則変更の発想を持つべき。また、二酸化炭素の排出係数の変化理由を「原発停止で石油使用量増加」と説明したのは疑問。

A ①傍聴で協議会活動が阻害されがちだが各協議会に検討を頼む②委員の顔ぶれは代表団体内で交代するよう頼む③協議会開催公表はしていない。委員になるのは規則次第。二酸化炭素の排出係数の変化は石油使用量に無関係。委員への説明は誤りだった。

教員「君が代斉唱」指導

矛盾意識は

岡 崎

規則どおり

尾崎教育長

Q 前議会で大阪市の例から君が代問題への質問があった。同和教育と天皇賛美、君が代文言と民主主義は矛盾と思わないか。崩壊した社会の行政は整合性だけが頼り。大阪市の教員改革への評価は。市長は弁護士経験から警察改革を避けて弱者狙いとの説がある。



矛盾社会 (撮影 渡辺克巳)

る。個人的意見はあっても述べられない。大阪市は指導要領や規則に従って行ったので君

が代斉唱指導は適切。ただし議員の「規則を作った経緯の話」は驚き。



経済厚生委員会視察（7月25日）

〔A〕町長 開設当初からの経緯で町は財政、運営面など支援を行ってきた。今後も引き続き福祉会の運営を支援する。土地は経営等を踏まえた中で検討する課題。
〔副町長〕理事会の内容については発言できない。寺田元町長は、たぶせ苑と現在は関係は無い。

〔Q〕たぶせ苑への財政支援は平成27年度、土地の使用貸借は29年度まで。覚書等もある。協議が必要なら今から始めるべきではないか。

理事会で土地の話題はないか。寺田元町長は顧問か。たぶせ苑は民設・民営。町民から不信をもたれてはならない。



國永美恵子 議員

今後の方向性は 運営を支援する

長信町長

國永美恵子

たぶせ苑

町長の政治姿勢

懸念する

國 永

まちづくりに努める 町長

〔Q〕町長の施政は住民の生命に直結する。町民の生活と生命を守る政治の役割は重要。改築案のあった西田布施保育園は土砂災害の影響を受ける場所。
災害警戒区域、土石流の影響を承知で保育園改築案を議会に説明されたのか。状況を全く気づかなかったのか。

〔A〕町の土砂災害警戒区域は本年4月17日に県が告示した。西田布施保育園改築案はその後のこと。この園は地形的に土砂災害警戒区域や土石流の

影響を受けないという先入観で状況に気がつかなかった。今後、関係課と連携を図り安心・安全なまちづくりに努める。



田布施町土砂災害ハザードマップ

就業時間

喫煙禁止に

國 永

内部で検討

町長

〔Q〕町広報にたばこの弊害や禁煙が載っている。町職員の就業時間を喫煙禁止にすべきではないか。（昼休みを除く）
就業中の喫煙禁止は世間の流れ。町長が吸われるので職員は声を上げ難

いと思う。
県内で1番に10月1日から実行を期待する。

〔A〕たばこの害や対策は広報で啓発に努めている。職員の勤務時間を全面禁煙とする県内状況は

近隣自治体の取り組み状況

就業時間中の職員全面禁煙に取り組む近隣自治体は広島県の竹原市、三次市、世羅町の3市町があります。山口県内では現在のところ実施されていません。

確認していないが、昼休みを除き、禁煙を試行・実施する自治体があることは知っている。
役員内の衛生委員会や課長会議で勤務時間中の全面禁煙は検討する。

◎その他の質問
・南海トラフ対策について

自然エネルギー

買い取りをどう思うか 林山 健二

調査、研究する

長信町長



福山太陽光発電所① (中国電力提供)



福山太陽光発電所② (中国電力提供)

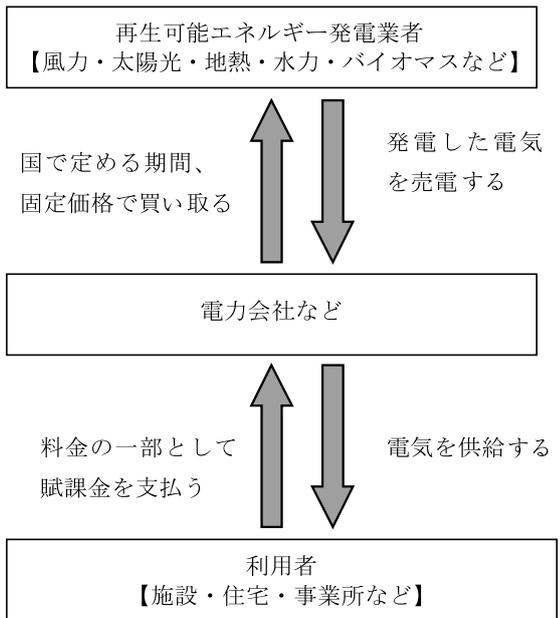


林山 健二 議員

Q 家庭用ソーラー、メガソーラー、自然エネルギーによる発電、国策で高値で電力会社に買い取らせている。クリーンで結構だが、大容量の蓄電設備は高額なため使用されず、買い取り電気は捨てられる。電気代の値上げで消費者に負担を押し付けるが、町長の考えは。

A 再生可能エネルギーで発電した電気の全量買い取りを電力会社に義務付け、メガソーラーが全国的に普及している。
電力会社は買い取り費用を電気料金に乗せざるため、普及するほど家庭等の電気料金は増加する。再生エネルギーのあり方を調査、研究する。

固定価格買取制度の仕組み



(政府広報オンラインのHPをもとに作成)



西田布施保育園

契約書がある

密約があったか

西田布施保育園

町長

林山

Q 西田布施保育園の改築案が示され、7月25日視察時に、理事長より改築は中止、25年度で土地の契約が切れ、今後は未定との答弁。寺田前町

A 平成16年4月に町から田布施保育園に経営委託し現在に至る。引き渡し日から10年間は保育事業として供しなければならぬとし、指定期間が満了するまでは第三者に譲渡貸し付けはできないと「町有財産無償譲渡契約書」「土地使用貸借契約書」を結んでいる。

長の時、建物は改築し無償で渡す、土地は無償貸与と聞いたが、10年で終わるとは聞いていない。園との密約があったのか。

議会だより

114号を 読んでの感想です



K・K (60代男性)

議会だよりは、いつも興味をもって読んでいます。今回もモニターを引き受け、これまでも毎号感じるところがあり、これから一年間一町民としての感想を書かせていただきます。よく法的には問題ないが、人道的にはといわれるが、6月の一般質問では2名の議員から、同じ内容の質問があり、その回答に何か物足りなさを感じました。各種予算は議会で決議されるが、これからも、田布施町は、正直者がバカを見ない町づくりを議員の方々にお願います。

西本 智美

シャボン玉で遊んでいる田布施幼稚園の園児の皆さんの微笑ましい姿の表紙がとても素敵でした。毎回表紙を楽しみにしています。

子ども達の通学の安全対策ですが、危険箇所を把握することはとても大

事なことです。学校側だけに任せるのではなく、家庭でも子ども達と話し合う機会を作って指導していきたいものです。特に中学生になると、自転車に乗ることも増え、子ども達だけで活動する範囲がぐんと広くなりま

すが、家庭ではもちろんですが、学校で学期ごとに交通指導をして頂けたらな、と思います。最近の子ども達を見て思うことは、恐れを知らないな、と感じます。命の大切さを親から子へと伝えていきたいものです。

大下 健司

表紙の子供達を見てみると、ほのほのとした気持ちになります。この子供達もまもなく学校に通う事になります。一般質問で通学安全対策が出されています。回答は、少しずつ進められているとの事でしたが、一日も早く安全対策が進む事を望みます。又総務文教委員の方々が学校給食センターの視察をされ、活発な意見、要望が出された

とありましたが、それが聞きたかったです。

Y・Y (70代女性)

議会だよりのモニターとして、二年生になりました。まず表紙のシャボン玉で遊ぶ田布施幼稚園の皆さんが一生懸命に大きなシャボン玉をとばせている可愛い姿が印象的でした。来年は一年生でしようか。小学生の通学の安全対策について、田布施町では、危険箇所を把握し、PTA危険マップを作り少しずつ改善が進められているようです。通学している小学生をガードして下さっている方によく出会いますが、感謝いたしますとともに、更に地域ぐるみでも積極的に注意し、事故が起きないように見守りましょう。県道光柳井線に続き、麻郷小学校グラウンド造成工事も着々と進められ、期待しております。

M・K (60代男性)

経済厚生委員会のレポートの中で「県道光柳井線の歩道、自転車道の設

置について」という記事を見つけ、自転車道の設置も大事と思いますが、先日少し気になる事がありました。人口は減少し、交通機関の悪い田舎では自動車や自転車の利用が益々増えてきております。先だって、米出から田布施に行く途中で坂道になっていくカーブで大

型車と離合した時に前方から、学生がヘルメットも着用せず、左側に自転車車で来ており、もう少しで接触し大事故になる所でした。カーブミラーがあればと思うとともに、教育で交通ルールにも、力を入れ指導してほしいと思います。

T・Y (40代女性)

通学の安全対策においては、危険箇所等の現状改善を一刻も早く進めていただきたいと思えます。相次ぐ通学時の車突撃事故は、歩いている側がいくら気を付けていても車には勝てるわけがないのです。私の住んでいる所は、歩道と車道が一体化している、いわゆる

田舎道。その田舎道だからこそスピードを出したがる人がいます。道幅が狭く歩道の路肩のない所ばかり。路肩さえあれば、もしもの時の命が守られるのではと、いつもハラハラしながら娘を見送っています。公の場所だけでなく、田舎道への配慮も欲しいものです。

西元 満晴

議会だよりの目的は今、議会で何を問題にしてどう対処しているのか町民に分かりやすく読んでもらうことだと思う。その面で、議会での質疑応答は見出しですぐ理解でき、読み進むことができ。さすが、日本一の栄誉を勝ち取っただけの広報だと感じた。その時の「ありのままを伝えよう」と発刊の原点に立ち戻って取り組んだ結果だと思ふ。また、表紙を飾る「シャボン玉とんだ」の園児の写真も、白黒ゆえに、他の保育園で試し撮りしたりのご苦労の跡が伺える。

—— 視察研修レポート —— 総務文教委員会 (視察日 / 8月21日)

視察先 福岡県広川町

町がめざすものは、「自立する力をもった子どもの育成」

広川町は、福岡県南部八女郡の北西部に位置し、面積は37.91平方キロメートルの町で、人口は19,792人(平成24年10月1日現在)で増加傾向にあります。

広川町教育委員会は、「自立する力をもった子ども」の育成に取り組んでおり、学校と家庭と地域及び関係機関の連携による「地域ぐるみ」の教育力向上町民運動を展開しています。子どもの生活をしっかりと見つめ、三者がそれぞれの役割を果たしながら、互いに連携し、社会全体で子どもの教育に取り組んでいます。



広川町役場 (8月21日)

◆学力向上の取組み

県からの指定を受け、町内の小学校3校と中学校1校が学力向上推進校となり、県事業「ふくおか学力アップ推進事業」に取り組んでいます。全国学力・学習状況調査で全国平均を上回ることを目標に、校内研修の充実を図り、教職員の授業力を向上させるため、授業改善プランを作成するなど、様々な改善案を取り入れています。

今年度は、特に家庭学習強化と題して家庭学習に重点を置いており、また、その成果を町の学力向上検証委員会(教育委員・各学校長等で構成)が、

検証しています。具体的な活動は、プランの取り組み状況、プランの実施及び結果の検証を行ない、その成果と課題をまとめ、公表しています。この取り組みにより、3~4年前には、県平均よりも下位であった成績も昨年度から一定の成果を上げています。

◆生涯学習推進の取組み

地域の教育力向上の取り組みは、町内に34箇所もある地域の公民館を中心に実施されています。例えば「夏休みきらめき学習」では、夏休みの期間中に、地域の公民館を開放し、子ども達が宿題をもって気軽に集まり、共に教えあう場、地域の人々とふれあえる場を作り、23年度の参加者数は、1,372人となっています。子どもたちは、地域でのふれあいを通じて、「地域を見直し、大切に作る心」「ふるさとを愛し、誇れる心」が確実に育って行くのだといいます。

このような地道な地域の活動が、未来のまちを担う「心豊かで個性と創造性あふれる人材」の育成につながっていくのだと実感しました。少子高齢化の急速な進展の中で、次代を担う人材育成が着実に行なわれていることに、まちづくりの原点を見たように思います。



公民館で宿題する子どもたち

議員リレー随筆では多くの尊い犠牲の上に平和な今日があることに深く感謝し、二度と悲惨な過

委員レポートQ&Aは内容文・スペースともコンパクトにまとめられ、読みやすかったです。

6月定例会での繰越明許費の詳細(一般会計5事業等)も掲載してほしいと思います。

ハイ、お行儀よく並んで、思わず「ぶ・」、かわいいシャボン玉と園児達お空高く舞い上がれ！カラー表紙ならなお良い。

S・T(60代女性) 選手達は、表彰台で満面の笑顔を見せ、日の丸を誇らしげに見つめていました。日本人としての「絆」を深く感じました。

私の子供の頃は、玄関の壁に国旗立ての金具が付いており、国民の祝日には必ず、日の丸が立てられたものです。

もうすぐ67回目の終戦記念日を迎えます。先祖への感謝の思いと平和への願いを感じる一日としたいと思います。

モニター

感想文の

続きです。

ちを繰り返さぬよう語り継いでゆきたいものです。編集後記では「人の何倍もの練習に励むことが世界一につながる練習」との言葉に感動しました。

Y・H(60代女性) 6月定例会での「日の丸掲揚、君が代斉唱」の質問に目が止まりました。

ロンドン五輪の卓球女子団体は決勝で中国に敗れましたが、この競技では初となる銀メダルを獲得しました。

広報研修会

町議会議長会 広報研修会



県町議会議長会研修 (8月24日)

8月24日、田布施町「サ
リジェ」にて山口県町議
会議長会の広報研修会が
開かれ、県内町議会の広
報委員さんが多数出席し
ました。講師は、山口新
聞特別編集委員の佐々木
正一氏で、「行間を読む、
読ませる」と題して、自



治体議会における広報の
あり方などについて、分
かりやすく説明されまし
た。また、各町の議会広
報のクリニク診断も行
われ、具体的な改善点を
指摘していただき、今後
の紙面づくりの参考にな
りました。

熊毛郡町議会 広報研修会



郡広報連絡協議会研修会 (10月12日)

10月12日、田布施町役
場にて熊毛郡町議会の広
報研修会が開かれ、郡内
町議会の広報委員が全員
出席しました。

この研修会は、郡内3
町の広報委員が情報交換
と親睦を目的に毎年開催
しています。研修では、
本町の高川委員長の話
があり、議会だより第65
号が町村議会広報全国コ
ンクールで最優秀賞を受
賞した時のエピソードや
苦労話などを披露されま
した。また、各町とも、
活発な意見を出し合い、
郡内の親睦も深めました。

視察研修の受入

長崎県川棚町議会

7月24日、長崎県の川
棚町議会の広報委員の皆
さんが、「議会広報の編
集」の視察研修に来町さ
れました。



川棚町視察 (7月24日)

研修会では、それぞれ
の現状について説明し、
今後の課題や読者に読み
やすい紙面づくりなどに
ついて、活発な意見交換
を行い、紙面づくりの勉
強になりました。

山口県自治研修会

9月27日、山口市「セ
ントコア山口」にて山口
県自治研修会が開かれ、
本町議会からは10名が出
席しました。講師は、テ
レビなどでも活躍されて
いる時事通信社解説委員
の田崎史郎氏で、「揺れ
動く政局・政治情勢」と
題して、講演されました。



講師の田崎史郎氏

また、最近の政治情勢
を「政治は川の流れと同
じで、いつも同じ流れに
はならない」などと表現
され、長い記者生活での
経験に基づいた政治の裏
話などをユーモアを交ぜ
て熱く語り、一同真剣に
聞き入りました。



熊毛南野球部



河内 賀寿

この夏一番うれしかった事は、母校の熊毛南高校野球部の甲子園大会山口予選ベスト4進出です。私が高校生のころは1回戦負けが当たり前の時代でした。それでも、同級生3人が黙々と練習している姿を見て感動、3年間球場には行きませんでした。結果は分つていても、精一杯応援した

事はいいい想い出です。弱いイメージの熊毛南でしたが、最近10年くらいは別物であり、大勝利を何度も見せてくれます。毎回、目頭が熱くなります。球場はいいものです。部員は会えば元気に挨拶してくれます。これも気持ちがいい。甲子園出場いつの日か見たいな。

議員リレー随筆

さて、どっちが長もて



清神 清

生まれ育ちは小さな農家。当時は農業機械もなく、牛を使つて田んぼを耕作し、全てが手作業でした。そんな我が家に初めて入った機械は「トラクター」と呼ばれるものでした。あれから50年、今や機械化が進み、能率も大幅に上がりました。最近、我が家に大型トラクターが

仲間入りしました。「20年は使える」と言う息子が高い機械を買うより米を買つた方が安上がりです。機械は手入れや部品を交換すれば長持ちします。人間は部品交換こそ出来ませんが、日々の健康チェックが大切。さてどっちが元気で長う持てるだろうか。

モニター懇話会を開きました

7月24日、議会モニター懇話会を開きました。出席された議会モニターさんからは、議会用語が町民の皆さんに分りにくいとか、議員随筆を毎回楽しみにしているとか、日頃から、議会だよりに対して感じておられることなど、様々な意見や要望が出され、大変有意義な懇話会でした。皆さんからいただいた貴重な意見は、今後の紙

面づくりに生かしてまいります。



モニター懇話会 (7月24日)

議会を傍聴してみませんか

町議会は、定例会(3月、6月、9月、12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。なお、本会議での傍聴席

は30席設けています。

【問合せ先】

議会事務局

(52・5800)

12月定例会の日程(予定)

12月13日から21日まで9日間の開催予定です。正式には、12月10日開催の議会運営委員会で決定されます。

編集後記

◆議会だより115号をお届けします。◆本号は9月定例会の様子をお知らせするものです。この議会は23年度町会計の決算が主でした。昨年度町の財政は黒字で「実質公債費比率」(借金比率)は前年比1.4ポイント減少、「将来負担比率」も改善して基金も12億円を超えるなど「健全化」にかなり前進が見られました。◆本町では、厳しい財政事情のもと田布施中学校に続いて、近年西小、東小、麻郷小と相次ぎ新築されました。◆小中学校の校舎の耐震化率も県下第1位の94.4%となるなど教育施設を整備充実してきました。行政の努力を多とし、議会も更なる「財政健全化」と「夢」のある町づくりに努めてまいります。

議会広報広聴調査
特別委員会